

週報

こひつじ

第39巻 17号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

まことの礼拝

真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。・・・神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。(ヨハネ四の二三、二四)

その一 どこから水を汲むか

イエスはユダヤからガリラヤに しかしイエスは、礼拝とは何かゆくのに、サマリヤを通り、スカ についてのもっとも根源的なことルという町まで来られた、とある。 を、ほかでもない、このサマリヤそこにヤコブの井戸があった。 の女に解き明かされたのである。 疲れたイエスは泉のほとりで休 それはずぜか。 んでおられた。時は昼頃であった。 彼女が渴いていたからだ。

そのときサマリヤの女が水を汲 したがし彼女が、その渴きをいやみに来た。 イエスは、自分のほう すために、この世のものを求めてからその女に語りかけ、水を求め いた。結婚を繰り返したのもそのためだったが、それで彼女の心が満たされることはなかった。

彼女は驚いた。 汲み上げようとしている水が間というの、当時、ユダヤ人は 違っていたのである。 サマリヤ人を軽蔑し、彼らとの交 そこでイエスは言われた。 流を避けていたからである。

「この水を飲む者はだれでも、また渴く」

イエスは、決して渴くことのない水を汲み上げよ、と言われたのである。

では決して渴かない水はどこから湧き出ているのか。

命の根源である神ご自身からである。

だからエレミヤは、それをしなかつたユダヤの民をきびしく非難して言った。

「わたしの民は二つの悪を行なつた。湧き水の泉であるわたしを捨てて、多くの水ためを、水ためを、自分たちのために掘つたのだ」(エレミヤ書二の二三)

われわれはどうか。どこから水を汲もうとしているだろうか。

「人類の歴史は、どの民族もその宗教以上に進歩しなかつたことを示し、またどの宗教もその宗教の神観念より偉大なものではなかつたということを表わしている」

とA・W・トーマスは言ったが、人も民族も、その宗教で将来が決まるといのである。

狐を拝めば、狐のように、蛇を拝めば蛇のように、金銭を拝めば、すべてを金で解決しようとする人間になるだろう。

だから、どんな神を礼拝し、どこから水を汲んでいるかが問われるのである。

またイエスはサマリヤの女に言われた。

「わたしたちは知って礼拝していませんが、あなたがたは知らないで礼拝しています」

多くの人は、このサマリヤの女のように、自分が礼拝しているのが何か、知らないでいるのではないか。

私がそうだった。 子どもの頃、私は母に言われ、寝る前には必ず神棚に向かつて手を合わせていた。しかしその神がどんな神であるかを教えてくれたことはなかった。

「さわらぬ神にたたりなし」という言葉が一般にあるので、それは「たたる神」であつたかもしれない。「罰が当たる」とも言うから、ない。「罰する神」であつたかもしれない。

私は、子どもの頃から未来に突然やってくるかもしれない不幸を恐れながら生きていた。実に迷信的な子どもだったのだ。

しかし福音にふれて、自分の人生を支配するのが意地悪な運命や宿命ではなく、慈愛に満ちた神であり、しかも、その方が私のほんとうの父であることを知り、私の心は大きな安堵感に包まれた。何事も父のゆるしなしには起らない。そして父はそのすべてを働かせて益としてください。そう語る福音の言葉に、私はどれほど慰められたことだろう。(続)

江藤洋子さんが語ってくださいました。

二〇二二年度の伝道報告

①奈良福音教会七〇周年記念礼拝で奉仕(二〇二二年八月)

②CFNJ聖書学院で二回の授業(二〇二三年一月)

③エブリネイションチャーチ札幌で礼拝奉仕(二〇二三年一月)

しかし福音にふれて、自分の人生を支配するのが意地悪な運命や宿命ではなく、慈愛に満ちた神であり、しかも、その方が私のほんとうの父であることを知り、私の心は大きな安堵感に包まれた。何事も父のゆるしなしには起らない。そして父はそのすべてを働かせて益としてください。そう語る福音の言葉に、私はどれほど慰められたことだろう。(続)

長老会報告

一、昨年(二〇二二年)度の伝道及び会計報告が行なわれました。詳細は下段を参照。

二、今後の礼拝は、新型コロナウイルスの感染がどうなるかまだわからないので、今まで通り、第一、第二の礼拝に分けて行ない、礼拝後のお茶のサービスも、もししばらく待つことになりました。

三、礼拝では、説教者、司会者はマスクなしでやりますが、会衆賛美のほうは、ご高齢の方が多いのでマスクをしていただいたほうがよいだろうということになりました。

今日(二〇二三年)の礼拝

第一礼拝は午前一〇時から、第二礼拝は午前一一時から。

教会学校は午前一〇時からこひつじ館で。

牧師身辺

久しぶりにオランダのモーレンキャンプさんから便りが来ました。ぼくは二一歳で会社をやめてから結婚するまでの五年間、モーレンキャンプさんの指導を受けました。ぼくの信仰の基礎はそこで造られました。

もう八七歳だそうです。今年、すべての奉仕の責任を降りて、次の指導者にゆだねられました。健康のほうはまだ心配ないとのことでした。奥様のフアンニーさんも、まあ、お元気とのこと。ぼくは今年七八歳になりますが、先生であるモーレンキャンプさんのことを思うと、まだもう少しがんばらなければならないのかもしれない。

先週の礼拝

司会は岩崎宏志さん。

説教はマタイ六の二六〜三〇。した。「空の鳥を見なさい」と題して、

六、牧師の出張

①週報『こひつじ』三八巻

②『こひつじ Jr』一二回発行

③『旅人』出版

先週の出席

第一礼拝が五七名、第二が三名、合計八九名(男三二、女五七)。子ども一〇名。合わせて九九名でした。

四、礼拝出席

礼拝出席者数の平均〓九〇名(男二七、女五六、子供七)

五、文書伝道事業